

【緑地を楽しむ本】



『ちよちよ もこもこ ぶわわわ』

ちいさなかぐのとも 2024年11月号

竹村東代子 さく

初冬の田んぼ。女の子
が見つけたのは、「ぼう
に ささった ソーセー
ジ？」・・・実は「ガマ
の穂」。

ちよちよさわると
ふかふかのソーセージから、もこもこと何か
がでてきて、ぶわわわと綿あめのように爆
発！ガマの綿毛・タネです。付録の解説によ
ると、穂の長さ10センチメートルあたりに約
10万個も入っているとか。ただ、そんなに飛
んでいっても、どこもかしこもガマだらけに
ならない、ということは、新しい水辺にたど
りつくチャンスは決して多くない、というこ
と。なかなか生きていくのは難しいようです

私はまだ触ったことがないので、いつの日か
チャンスがあれば爆発させてみたいです。（本
の注意書きに「水辺や湿った地面に生える植物
なので、近づくときは足もとの安全にお気をつ
けください。また種を飛ばすときは、周囲にご
配慮ください。」とあります。）

この絵本では、風に乗って空いっぱい飛ん
でいく綿毛は、和紙を切り抜いて表現されてい
ます。綿毛の繊細さと立体感が伝わってくる素
敵な絵になっています。

（遠藤）